

はしま 議会だより

令和2年

8月1日発行

2020 AUGUST

No.171

主な内容

- 5月13日臨時会概要、議会構成、質疑
5月27日臨時会概要、質疑 …… 2P
- 5月13日臨時会審議結果、
5月27日臨時会審議結果 …… 3P
- 第4回(6月)定例会概要、
質疑、人事案件、表彰 …… 4~5P
- 一般質問
16人が市政を問う …… 6~11P
- 6月定例会審議結果 …… 12P

基礎工事が進む新庁舎 (令和2年6月撮影)

第2回市議会臨時会は5月13日招集され、1日間の会期で開催されました。

今臨時会には、専決処分報告など17件が提出され、14件を原案のとおり承認、同意及び可決し、3件について、6月定例会で慎重審議するべきなどの反対討論があり、否決しました。

また、正副議長の改選が行われ、議長に山田紘治氏、副議長に豊島保夫氏が選ばれました。

さらに、常任委員会等の各委員の選任を行い、議会構成を改めました。

羽島市議会構成



議長
山田 紘治



副議長
豊島 保夫



監査委員
近藤 伸二

（順不同）委員長

◇総務委員会（6人）

◎粟津 明 ○毛利廣次

◎後藤國弘 ○堀 隆和

◎糟谷玲子 ○近藤伸二

◇民生文教委員会（6人）

◎川柳雅裕 ○柴田喜朗

◎原 一郎 ○安井智子

◎豊島保夫 ○星野 明

◇産業建設委員会（6人）

◎南谷清司 ○野口佳宏

◎南谷佳寛 ○藤川貴雄

◎山田紘治 ○花村 隆

◇議会運営委員会（6人）

◎堀 隆和 ○星野 明

◎粟津 明 ○川柳雅裕

安井智子 糟谷玲子

◇ごみ処理施設建設特別委員会（18人）

◎山田紘治 ○豊島保夫

◎議会改革特別委員会（6人）

◎原 一郎 ○花村 隆

◎南谷清司 ○柴田喜朗

◎毛利廣次 ○後藤國弘

◇新庁舎建設特別委員会（18人）

◎山田紘治 ○豊島保夫

◇予算決算特別委員会（18人）

◎星野 明 ○堀 隆和

◎野口佳宏 ○川柳雅裕

◇広報広聴委員会（6人）

◎南谷佳寛 ○堀 隆和

◎花村 隆 ○星野 明

質疑

契約の変更

問 令和2年4月末時点でのそれ

第3回市議会臨時会は5月27日招集され、1日間の会期で開催されました。

今臨時会には、契約の変更など4件が提出され、本会議、委員会慎重に審議の結果、原案のとおり可決しました。

なお、今臨時会で決まったこと、議案に対する審議の状況は次のとおりです。

工事請負契約の変更について

契約金額、工期を明確にし、新庁舎建設工事を進めます。

当初設定していた工期を本体建築工事に合わせて延長することに伴い、契約金額を変更する契約を締結します。また、内容は5月13日臨時会で否決されたものと同じの内容です。

問 5月13日臨時会において6月定例会で審議すべきとの反対討論などから否決された議案と同一の内容である理由は。

答 契約内容の中でも90日から144日という工期の変更は、極めて重要な事項であり、このような契約に関わる重要な基本的事項は、双方の協議が調い次第、羽島市工事請負契約事務処理要綱第8条の規定による変更契約を締結することが求められる。受注者側は変更契約の仮契約締結により、新たな

その工事の進捗率は。
答 電気設備及び機械設備工事は約5%、地中熱設備工事は約40%の進捗率となっている。

工期を前提とした工事工程による資材の発注や作業員の確保、下請業者との連絡などの準備を整えていたが、5月13日臨時会での否決を受け、6月定例会を待つて議案上程した場合、4月17日の仮契約締結から2カ月以上の期間が経過することになる。激変する社会経済情勢の影響を受け、契約の安定的な実行に支障を及ぼすおそれがあることから、5月中の議案成立を目指して再度5月27日臨時会での上程となった。

第2回（5月13日）臨時会 議案の審議結果

議案番号	提出議案	審議結果
承第1号	専決処分の報告並びにその承認について (専第5号 羽島市税条例等の一部を改正する条例について)	原案承認
承第2号	専決処分の報告並びにその承認について (専第6号 羽島市国民健康保険税条例の一部を改正する条例について)	原案承認
承第3号	専決処分の報告並びにその承認について (専第7号 羽島市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例について)	原案承認
承第4号	専決処分の報告並びにその承認について (専第8号 令和元年度羽島市一般会計補正予算(第8号))	原案承認
承第5号	専決処分の報告並びにその承認について (専第9号 令和2年度羽島市一般会計補正予算(第2号))	原案承認
議第33号	羽島市固定資産評価員の選任について	原案同意
議第34号	羽島市税条例の一部を改正する条例について	原案可決
議第35号	羽島市後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決
議第36号	羽島市国民健康保険条例の一部を改正する条例について	原案可決
議第37号	羽島市介護保険条例の一部を改正する条例について	原案可決
議第38号	令和2年度羽島市一般会計補正予算(第3号)	原案可決
議第39号	令和2年度羽島市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	原案可決
議第40号	工事請負契約の変更について	否決
議第41号	工事請負契約の変更について	否決
議第42号	工事請負契約の変更について	否決
議第43号	羽島市監査委員の選任について	原案同意
議第44号	羽島市常勤の特別職職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決
	副議長辞職許可について	許可
	副議長選挙について	選挙
	議長辞職許可について	許可
	議長選挙について	選挙
	各常任委員会委員の所属変更について	許可
	議会運営委員会委員、議会改革特別委員会委員の辞任許可について	許可
	各常任委員会委員、議会運営委員会委員、議会改革特別委員会委員の選任について	選任

第3回（5月27日）臨時会 議案の審議結果

議案番号	提出議案	審議結果
報第5号	専決処分の報告について(専第10号 損害賠償の額を定めることについて)	報告
議第45号	工事請負契約の変更について	原案可決
議第46号	工事請負契約の変更について	原案可決
議第47号	工事請負契約の変更について	原案可決

新庁舎建設工事契約概要

5/13 臨時会	5/27 臨時会	内容	変更前 (工期) (契約金額)	変更後 (工期) (契約金額)	工期延長日数 及び 増加額
議第40号	議第45号	電気設備	R1.10.22～R3.4.13 5億5187万円	R1.10.22～R3.7.12 5億5561万円	90日 374万円
議第41号	議第46号	機械設備	R1.10.22～R3.4.13 7億8870万円	R1.10.22～R3.7.12 7億9298万7800円	90日 428万7800円
議第42号	議第47号	地中熱設備	R1.10.22～R2.3.19(I期) R2.5.25～R3.2.18(II期) 1億7435万円	— R2.5.25～R3.7.12 1億7588万6700円	— 144日 153万6700円
—	—	本体建築	R1.10.22～R3.7.12 31億2950万円	— —	— —

第4回（6月）定例会

6月定例会で次のことが決まりました。

第4回市議会定例会は6月5日招集され、6月29日までの25日間の会期で開催されました。

今定例会には、条例の制定や一部改正、令和2年度補正予算など35件が提出され、本会議、委員会で慎重に審議の結果、原案のとおり可決しました。今定例会で決まったこと、議案に対する審議の状況は次のとおりです。

令和2年度羽島市一般会計補正予算ほか

GIGAスクール構想を前倒しして推進します。

令和5年度までに整備することを予定していたGIGAスクール構想について、ICT機器を用いた教育や新型コロナウイルス感染症まん延に伴う休校中の学習支援等が行えるよう児童・生徒、教員へのタブレット端末の整備や学校のWiFi環境の整備を行います。

問 タブレット端末の配備時期と総数は。

答 令和2年11月ごろから児童・生徒用に5555台、教員用に350台を配備する予定。

問 情報機器整備に係る財源の内訳は。

答 文部科学省の国庫補助金から約1・7億円、地方創生臨時交付金から約1・2億円、残りを一般会計から負担する見込みである。

問 通信環境が整備されていない家庭に対してどのように対処するか。

答 この度の臨時休業と同様に、

学校からの電話連絡または学校において学習や生活について対面により支援する。

問 各家庭への通信費に対する補助の考えは。

答 検討課題として捉えており、今後、国や県の動向を注視していく。

問 学校のWiFiの整備状況はどのようになるか。

答 普通教室は100%、特別教室は概ねWiFi環境となる。小学校の家庭科室、音楽室、中学校の調理室については整備する予定はない。

羽島市竹鼻まつり山車会館条例について

竹鼻まちなかエリアの新たな拠点として市の観光振興を図ります。

一般財団法人国際クラブより施設の寄贈を受け、竹鼻まつりの山車や竹鼻まつりに関連する資料等を展示します。令和2年秋ごろのオープンに向け準備を進めます。

問 施設の管理はどのように行うか。

答 具体的な管理経費や運営ノウハウなどが明確でないため、市が直接管理を行うこととしている。



竹鼻まつり山車会館

施設の開錠・施錠などの平常時の運営とメンテナンスに加え、施設周辺に点在する既存の地域資源の観光案内といった諸業務は外部への委託を予定している。

問 山車の入れ替え作業は誰がどのように行うか。

答 竹鼻祭山車保存会を通じ、各町の意向を確認しながら実施する。各町の山車蔵から山車会館までの運搬は基本的には地元の方に行っていたこととなるが、必要に応じてボランティア、市の職員などが協力する。

問 将来的においても定期的な展示替えは可能か。

答 山車の躯体、幕類の状態などの理由により、展示の許容期間は各町で異なると思料している。展示期間を一律に定めるのではなく、各町の意向を尊重して柔軟に対応し、比較的長期間の展示が可能な町内の山車と組み合わせるなど、各町の展示の順番を工夫することで、2両の山車を常設展示できるように計画している。

問 山車や幕の展示方法と長期展示に対する配慮は。

答 幕類やかじ棒など、躯体に取り付けた竹鼻まつりの祭



歴史ある竹鼻まつりの山車

礼当日と同様の状態での展示を予定している。山車が大変貴重な財産であることは十分認識しており、

所有者である各町保存会と相談しながら、その取扱いは細心の注意を払う。

問 芸術文化に興味がある来館者が何度も足を運んでもらえるように年間パスポートを発行してはどうか。

質疑

令和2年度補正予算

問 防災施設管理費の詳細は。

答 岐阜県が策定した避難所運営ガイドライン新型コロナウイルス感染症対策編の公表を受け、避難所における新型コロナウイルス感染症対策に必要となる資機材を整備するもので、段ボールベッド、防護服、フェイスシールド等を購入する。

問 医療用陰圧テントと熱検知カメラの使用予定は。

答 医療用陰圧テントは感染症のおそれのある外来患者のトリアージや検査に使用し、熱検知カメラは一般外来と救急外来の2カ所の出入口に設置する予定をしている。

条例改正

問 歴史民俗資料館条例及び不

答 新たに導入する3館共通入館券の価格は3館へ初めて来館される方だけでなく、再度来館される方にとつてもリーズナブルな価格設定であると考えており、当面は3館共通入館券の販売促進に努める。

竹鼻町屋ギャラリー条例の一部改正について、竹鼻まつり山車会館を加えた共通入館券をつくることによる歳入の影響は。

答 共通券1人当たりの収入は減るものの、竹鼻まつり山車会館が加わることによつて多くの方にご来館いただき、歳入を大きく下げることにはならないと考える。

その他

問 今年度の消防自動車購入事業は、はしご車の更新と消防団に配備されるポンプ車となつているが、今回消防ポンプ車のみ更新となつた理由は。

答 新型コロナウイルス対策に係る財政への影響を考慮し、車両購入時期の検討をしている。

人事案件

人権擁護委員の候補者に

南谷 東子さん（小熊町）

委員の任期満了に伴い、南谷さんを再び推薦することについて議会の意見を求められましたので、適任とすることに決しました。

羽島市農業委員会委員に

- 田中 敏信さん（福寿町）
- 大井 幸男さん（桑原町）
- 岩田 悟さん（足近町）
- 山田 倉造さん（上中町）
- 石原 晃さん（桑原町）
- 加藤 芳正さん（足近町）
- 花村 直良さん（正木町）
- 宮田 圭さん（桑原町）
- 森川 朝子さん（桑原町）
- 時田 昌子さん（桑原町）
- 西川 ひとみさん（小熊町）
- 佐藤 文恵さん（福寿町）
- 浅野 喜代子さん（下中町）
- 服部 春彦さん（足近町）
- 大曾根 佳明さん（福寿町）
- 伊藤 克巳さん（福寿町）

委員の任期満了に伴い、先の方々を新たに任命したい旨の議案が提出され、これに同意しました。

表彰

近藤伸二議員が全国市議会議長会及び東海市議会議長会より市議会議員25年表彰を受けました。

市議会を傍聴しましょう

次回の定例会は、9月1日（火）午前10時開会の予定です。

※新型コロナウイルス感染症の発生状況により傍聴を制限する可能性がありますので、あらかじめご了承ください。

聴覚に障がいのある方も手話通訳を介して、議会の傍聴していただけます。

手話通訳者の派遣をご希望の方は、傍聴希望日の7日前までに議会事務局にお申し込みください。なお詳細につきましては、市議会ホームページをご覧ください。



マチイロ

はしま議会だよりをアプリで配信します。

App Store・Google playから「マチイロ」を検索し、ダウンロード



羽島市議会 公式Facebookページを開設しました。

<https://www.facebook.com/hasimasigikai/>



令和2年
6月定例会

16議員が市の諸問題を問う！

一般質問

- 1 南谷 佳寛 議員 6
- 2 近藤 伸二 議員 7
- 3 豊島 保夫 議員 7
- 4 原 一郎 議員 7
- 5 堀 隆和 議員 8
- 6 花村 隆 議員 8
- 7 星野 明 議員 8
- 8 後藤 國弘 議員 9

- 9 川柳 雅裕 議員 9
- 10 糟谷 玲子 議員 9
- 11 野口 佳宏 議員 10
- 12 柴田 喜朗 議員 10
- 13 毛利 廣次 議員 10
- 14 藤川 貴雄 議員 11
- 15 南谷 清司 議員 11
- 16 栗津 明 議員 11

※一般質問については議員の責任において掲載しております。
内容等に関するご意見は、直接議員へお尋ねください。

市議会の会議録を検索・閲覧できます。

羽島市議会
会議録検索システム <https://ssp.kaigiroku.net/tenant/hashima/pg/index.html>



インターネットで本会議の録画中継を実施しています。

羽島市議会
議会中継 <https://smart.discussvision.net/smart/tenant/hashima/WebView/rd/council.html>



財政運営について



みなたに よしひろ
南谷 佳寛
自民清和会

問 コロナ社会で想定される財政への影響は。

答 コロナウイルス感染症の拡大が日本経済に与える影響は大きく、リーマンショック時の国全体の地方税・地方譲与税は約4・9兆円減収、市においては、主に市民税で影響を受け約2・3億円減収となったように今回も一定程度の減収は不可避であると考えている。

問 税の減収やコロナウイルス感染症により生じた新たな財政需要にどのような措置を。

答 中小企業等の売上高の減に応じた固定資産税・都市計画税等の軽減措置等には、「地方税減収補てん特別交付金や特例交付金」等で国から全額補てんされたり、地方税法に基づく一時的な減収等の場合には国により新たに創設された「徴収猶予特例債」や「減収補てん債」等の活用も検討していく。

また、新型コロナウイルス感染症により新たに生じた財政需要に対しては、緊急経済対策で予算化された国の「感染症対応地方創生臨時交付金」や県の「感染症対応地域の活力補助金」等を有効に活用し、令和2年度既存予算の執行抑制・圧縮等により捻出した財源を充当し、一般財源への財政負担を緩和しつつ、財政の「安定化対策」を鋭意推し進めていく。



こんどう しんじ
近藤伸二
自民クラブ

公共施設等の総合管理について

問 新旧の公共施設運営に係る経費負担の抑制などが必要となると考えるが、今後の公共施設の在り方については。

答 人口減少や高齢化の進展を踏まえると、当然として、現状のまま全ての施設を維持していくことは困難であり、どのような施設・機能を維持していくかという選択が必要である。一方、新たな生活ニーズに沿った市民の皆さんへのサービス施設の整備も必要となってくる。

現在、優先すべき独自課題を抱える中、財政の安定化対策のもと、公共施設のあり方について本格的な検討を進めていく段階にある。令和2年度、各個別施設計画を踏まえ、公共施設等総合管理計画の見直しを進めており、全体の状況を再度整理したうえで、老人福祉センターやコミュニティセンターなど、老朽化が進んでいる施設の今後の在り方について順次、具体的に議論を進めていく。

また、施設の適正な維持・管理に必要なとなる受益者負担金についても令和3年度からの減免の見直しに向けて準備を進めている。減免措置の見直し後には、利用状況等の検証を行い、必要に応じ使用料・利用料の見直しを進めていきたいと考えている。



とよしま やすお
豊島保夫
元気・羽島クラブ

新型コロナウイルス感染症拡大に係る学校教育への対応について

問 臨時休業中に児童・生徒、保護者からの相談の内容、件数は。

答 市教育委員会への相談は46件で、4月当初は学校再開について、5月からは学習に対する不安や再開後の感染防止対策、オンライン授業等についての相談である。

新型コロナウイルス感染症拡大に係る市民生活への対応について

問 国は全国民に一律一人10万円の特別定額給付金を実施したが、4月28日以降に生まれた子どもには支給されないのが、市独自で4月28日以降に生まれた子どもへ給付金を支給しては。

答 市独自に新たな基準日を定めた場合においても不公平感が残るため、事業化を見送ったところである。

問 小中学生等の家庭への特別給付金の上乗せで、児童・生徒に対し一律に一定額の給付金を支給する考えは。

答 市では、学びの保証と中小事業者等への経済支援に注力した施策を展開しており、市独自の追加給付については検討を見送ったところである。



はら いちろう
原 一郎
公明党

コロナ禍を踏まえた防災・減災対策について

問 避難所運営における感染症に対応した備蓄品の取り組み状況は。

答 マスクについては、養老・桑名・四日市断層帯地震の被害想定では、1万2880人の避難者想定に対し、約半分は自助での用意を想定し、1人2枚で1万3000枚の購入を計画している。手指消毒液は、1リットル入り100本を、非接触型体温計は指定避難所及び自主避難所用として27個、その他ゴム手袋、防護服、フェイスシールド等の購入を計画している。

GIGAスクール構想におけるICT教育の充実について

問 「コロナ社会」の「学びの保障」として、遠隔教育環境の確保、効果的なデジタル教育推進を実施のため、今定例会で可決されたGIGAスクール構想が早期実現することにより、市のICT教育に期待する効果は。



答 特別な支援を必要とする子どもを含め、すべての子どもたちが情報リテラシーを高めるとともに、きたるべく「超スマート社会」いわゆる「Society 5.0」を生き抜く力を身に付けることを、今回の推進の効果として期待している。



ほり たかかず
堀 隆和
正統派クラブ

羽島市民病院の経営について

問 新型コロナウイルス感染拡大による患者数と収益への影響は。

答 令和2年4月の外来患者数が8646人、前年同月比9・2%の減、入院患者数は5063人で、前年同月比20・4%減である。

問 令和2年4月時点の医業収支比率は、前年同月比11ポイントの減と見込む。全国調査によると、全国では、約12ポイントの減である。
問 424病院問題に対して、どう対応するか。

答 急性期機能病床から回復期機能病床へ、一部の病床の機能変更を予定している。

将来都市像「心安らく 幸せ実感都市はしま」の実現について

問 各町の人口推移について、特に市南部の減少割合が高いが、どうしていくのか。

答 新濃尾大橋の架橋促進や都市計画道路本田加賀野井線の整備を進め、愛知県や西濃地域との人・モノの交流を促進するとともに、インター南部地域の企業誘致を推進する。



新濃尾大橋(仮称)
令和5年前後完成予定



はなむら たかし
花村 隆
日本共産党
羽島市議員

健幸ステーションはしまについて

問 下中町石田にある羽島市防災ステーションを利用して運営を行っている健幸ステーションはしまは、コロナウイルス感染症とは関係なく、令和2年度からスタジオレッスンを中止し、開館日については今年1月から火曜日、木曜日、土曜日とした。これらの変更が行われた理由は。

答 令和元年開催の事業仕分けの意見を踏まえ、トレーニングジムについては継続の判断をした。他方スタジオレッスンについては、民間スポーツクラブにおいても同様のプログラムが市内で提供されていることから、令和2年度から中止とした。

問 体を動かす機会を提供するために健幸ステーションはしまを運営してきた。スタジオレッスンを実施している土曜日の利用者が一番多く、市民にも好んで利用されてきた。メタボリックシンドロームの傾向にある市民が非常に多い羽島市では、このような事業は積極的に進めていくべきではないか。

答 スタジオレッスンは令和2年度から中止している。トレーニングジムについては、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、年度内休止の方向で検討している。来年度以降についても、運営の在り方について検討していきたい。



ほしの あきら
星野 明
自民クラブ

羽島市民病院経営改善について

問 民間委託等への考えは。

答 経営形態を変更する場合には、それぞれの形態ごとに、メリットとデメリットが存在し、経営形態を変更すれば、病院経営が改善するかどうかというものではない。

病院の経営が厳しいのは、現在の医療制度上の構造的な問題があり、専門医制度の開始などにより医師の適正な供給が行われていないことが大きく影響していると考えられる。したがって、現時点で経営形態を変更することは考えていない。

全国の自治体病院は、地域医療の最後の砦として、都市部からへき地に至るさまざまな地域において、行政機関、医療機関、介護施設等と連携し、地域に必要な医療を公平・公正に提供し、住民の生命と健康を守り、地域の健全な発展に貢献することを使命としている。地域住民の生命と健康を守ることが、地域の担い手を地域に定着させるための基本であり、そのためには、とりわけ地域において救急などの政策医療を確保することが重要である。

また、現在のような新型コロナウイルス感染症の拡大により、自治体病院の果たすべき役割、期待は一層大きなものとなっていると考えられる。



ごとう くにひろ
後藤 國弘
自民清和会

コロナウイルスにおける教育について

問 GIGAスクール構想における公立学校情報整備費補助金への対応は。

答 文部科学省のGIGAスクール構想については、早期に一人1台のタブレット端末と大容量の通信ネットワーク、大型提示装置を一体的に整備し令和2年度内に前倒しして実施していく。GIGAスクールサポーター配置については、岐阜大学、文溪堂と連携協定を結び相談や支援をいただき取り組んでいる。遠隔授業については、オンライン会議システムを利用しながら、さらに工夫改善を進める。

財政安定化対策について

問 コロナウイルスにおける財政安定化対策の影響と財政調整基金のあり方は。

答 日本経済の影響は多面で、市においても税収面での影響が予想され、1年毎に中期財政見直しを見直すことでも、目標としている基金残高の水準を達成できないと判断した場合には、各種対策の実施時期を早めることで効果を前倒しにするなど必要な措置を講じていく。経済情勢の変動や大規模災害等の不測の事態に対応するため、事前の一手として安定した市政運営を行うべく始めた取り組みを着実に実施していく。



かわやなぎ まさひろ
川柳 雅裕
元気・羽島クラブ

私たちの大切な羽島市民病院とコロナ対策について

問 コロナウイルス感染症の影響で病院経営も多難を極めるなかで、他市の公立病院のようにホームページなどで「寄附」を呼びかけ、市民病院を守る民意を高めてはどうか。

答 毎年度、複数の寄附をいただいている。令和2年度、新たにホームページに寄附専用のページを開設し、これまでもさまざまな法人や個人の方からマスクやフェイスシールドなどの感染対策用品や現金などの寄附をいただき大変感謝している。

問 医療従事者の皆さんのご苦労や生活を労うために、市から医療機関や介護現場への支援はどう考えているか。

答 岐阜県新型コロナウイルス感染症対策本部本部員会議でも、公的病院含め、医療機関への財政支援を知事にお願したところである。

市内の医療機関については、手指消毒液が不足している状況があり、現在市内の法人から手指消毒液を購入し、市内の医療機関等にお分けできないか模索している。

今後も、国県の財政支援等を活用し、支援すべき方策について前向きに検討していきたいと考える。



かすや れいこ
糟谷 玲子
公明党

新型コロナウイルス対策について

問 テレワーク環境整備事業の整備内容と活用は。

答 職員が、自宅から市役所の庁内ネットワークに接続できる環境整備を図る。令和2年8月以降の実施を目指し、テレワーク可能な職員用パソコンを増やし、利用状況を調査して今後の検討を進める。

女性が活躍できる社会づくりについて

問 令和2年に改定された「羽島市男女共同参画プラン」に、女性の活躍推進に向けた施策をうたっているが、どのような施策を推進されているのか。

答 今回のプランは、平成27年に施行された「女性活躍推進法」に基づいた「市町村推進計画」を包含するもので、3つの重点的な取組方針の1つに「女性の活躍とワーク・ライフ・バランス」の推進を位置づけている。

羽島市では、女性が活躍できる職場づくりという観点から、令和元年度より、本社が市内にある企業を対象に、「子育て支援企業認証・表彰制度」を創設し推進している。今後は、商工会議所と連携し、市内企業に対して同制度の趣旨や、先進事例を紹介していく。



のぐち よしひろ
野口 佳宏
自民清和会

新型コロナウイルス感染症状況下における災害対策について

問 情報発信の構築体制を強化するために令和2年7月に導入されるLINEをどのように活用するのか。

答 利用者が興味のある行政分野を登録時に選択することで、当該情報のみを受信できる「パーソナル配信機能」を導入しフルに活用していく。この情報発信の手法は、公式LINEアカウントの特徴であると考ええる。

一方、新型コロナウイルス感染症に関する情報のうち、感染者の発生状況など、特に重要なものについては「パーソナル配信機能」ではなく、利用者全員に一斉配信を行うこととし、情報の重要度に応じて柔軟に発信の手法を変更する運用とする。

また、LINEのトーク画面上には、新型コロナウイルス感染症の情報を集約した特設メニューを表示し、ワンクリックで最新の情報を提供できる環境を整える。その他道路損傷の通報やイベント申し込みなどの機能も実装し、市民との双方向性も活用しながら効果的な運用に向け準備を進めている。



羽島市LINE公式
アカウント
友だち追加はこちら



しばた よしろう
柴田 喜朗
自民クラブ

新型コロナウイルス感染症に関わる対応について

問 予算計上を行ったが、新型コロナウイルスの影響により中止等で経費が生じなかったものは。

答 5月末時点において令和2年度当初予算における未執行額は約2370万円である。

問 一律の給付で、市民の皆様の生活に寄与するような施策を考えているか。

答 市としては「GIGAスクール構想」の早期実現、「岐阜県新型コロナウイルス感染症拡大防止協力金」を給付された方に一律5万円の支援等の事業の展開をしていく。更なる市の独自施策については、国や県の交付金や補助金を有効活用しながら、実施していく予定。

まちの活性化について

問 山車会館を含めた竹鼻まちなかの活性化は。

答 山車会館については、地元、山車保存会の皆様にとつて長年にわたる念願であり、市としても平成29年に内閣総理大臣の認定を受けている「竹鼻まちなかの賑わい再生計画」に基づき、まちなか観光周遊を進めている。さらに隣接する佐吉大仏をはじめ、はしま観光交流センターやエリア内に点在する神社仏閣を含めた周遊、散策マップなどを提案する事で、まちなかへの人の呼び込みを図っていく。



もうり ひろつぐ
毛利 廣次
元気・羽島クラブ

快適な市民生活の促進について

問 家庭ごみ有料化に向けた事業の状況は。

答 令和3年10月の家庭系ごみ有料化導入に向け、事務作業を進めている。タウンミーティングが中止となったため、予定していた説明資料及び説明動画を市ホームページ等で公開し、新たにパブリックコメントの実施を予定している。

問 環境基本計画の策定の状況は。

答 令和元年度は、環境基礎調査や無作為に抽出した18歳以上の市民1000人を対象に市民アンケートを実施し、望ましい環境像や基本目標の設定について検討を行った。また、羽島市環境審議会の委員を委嘱し、環境基本計画策定に係る基本的事項について審議を行った。

旧かんぼの宿岐阜羽島への対応について

問 かんぼの宿岐阜羽島について、営業終了から今日までの経緯と、今後の市の方針は。

答 当該施設の処分の際、市と協議していただくよう申し出を行い、施設の現状等の情報提供をいただくなど連絡を取り合い、その動向を注視してきた。先般、市との交渉を優先する旨の申し出があり、市としては、建物等の現状、利活用に必要な経費、法規制など諸条件を慎重に検討のうえ、取得に向け協議を進める。



ふじかわ たかお
藤川 貴雄
自民清和会

教育施策について

問 新学習指導要領について、対応状況は。

答 各学校では3カ月にわたる臨時休業を実施したため、年度当初からの実施が困難な状況となったが、学校再開にあたり、まずは令和元年度未履修となっていた学習を行っている。

今後、授業日数や授業時数を補完しながら教育計画を見直し、新学習指導要領で示された指導内容については、令和2年度末までに全て終える予定である。

文化財の保存・活用について

問 書籍・文化財・メディア芸術分野など、さまざまな分野の情報を検索できるポータルサイト「ジャパンサーチ」を学校教育や市のPRに活用しては。

答 羽島市をはじめ他の都道府県や市町村の書籍や文化財などを検索・閲覧することは、情報を豊かにし、文化的価値に触れる上で有効な方法の一つであると考ええる。

市のPRへの活用については、デジタルアーカイブの共有基盤を整備することが前提となり、財政的・技術的な課題もある。文化財所管課をはじめとする関係課と検討していく。



みなたに きよし
南谷 清司
自民清和会

コロナ社会における学校運営と教員の働き方改革について

問 コロナ社会の先生には、新学習指導要領や情報機器活用などに加え、コロナ感染予防やコロナ社会に生きる子どもたちに寄り添ったきめ細かい指導など、多様な膨大な業務が課せられている。そして、「教員定額働かせ放題法」とも言われる略称「給特法」により、公立学校教員は、一般公務員のような残業手当が支給されないなか子どもたちのために頑張っている。先生の心と身体の健康が心配である。

文科省は「学校の業務だが必ずしも教員が担う必要のない業務」の役割分担適正化を求めている。そこで提案したい。コロナ感染予防のための業務を外部に委託するなど、先生が力を尽くす時間は、専門性を生かし、真に必要な子ども達の成長支援や学びの保障に充てるべきと思うが、財政当局の見解はどうか。

なお、コロナ感染予防では過剰対応とならぬよう、校長は学校医等と適切に対応するための情報交換をしてほしい。

答 ご指摘の事柄については全く同じ意見なので、先生と児童生徒の良好な関係を保てるよう、先生の負担軽減についてできる限りの検討をし、今後の改善につなげていきたい。



あわづ あきら
栗津 明
自民クラブ

コロナ対策について

問 市民は市独自の支援策を市長に期待している。他市では市民等を対象とした国の支援策の上乗せ等を行っているが市では何故やらないのか。

答 用途を限定せず一律に交付する事業については、メリットが乏しく市独自の追加給付は見送ったところである。

問 今後、市では独自の市民支援策・経済対策を考えているか。

答 国の補助金等を活用していく。

今後のコミセンと地域行事の取り扱い方について

問 市は、12月末まで自粛要請をされたが、地域の自主性はどうするのか。

答 コロナ社会を生き抜く行動指針を踏まえ、感染症防止のため中止の判断を各地域に委ねている。

豪雨災害対策について

問 近年スーパー台風等が予想され、今後新たな排水機場も必要になると考えられるが、今後の冠水・排水対策は。

答 降雨時に本来の排水ができるよう整備している。また、調整池等を作り雨水流出の増加を抑制する。

第4回(6月)定例会 議案の審議結果

議案番号	提出議案	審議結果
報第6号	専決処分の報告について(専第11号 損害賠償の額を定めることについて)	報告
報第7号	令和元年度羽島市一般会計繰越明許費繰越計算書の報告について	報告
諮第4号	人権擁護委員の候補者の推薦について	原案同意
議第48号	羽島市農業委員会委員の過半数を認定農業者等又はこれらに準ずる者とする事の同意について	原案同意
議第49号	羽島市農業委員会委員の任命について	原案同意
議第50号	羽島市農業委員会委員の任命について	原案同意
議第51号	羽島市農業委員会委員の任命について	原案同意
議第52号	羽島市農業委員会委員の任命について	原案同意
議第53号	羽島市農業委員会委員の任命について	原案同意
議第54号	羽島市農業委員会委員の任命について	原案同意
議第55号	羽島市農業委員会委員の任命について	原案同意
議第56号	羽島市農業委員会委員の任命について	原案同意
議第57号	羽島市農業委員会委員の任命について	原案同意
議第58号	羽島市農業委員会委員の任命について	原案同意
議第59号	羽島市農業委員会委員の任命について	原案同意
議第60号	羽島市農業委員会委員の任命について	原案同意
議第61号	羽島市農業委員会委員の任命について	原案同意
議第62号	羽島市農業委員会委員の任命について	原案同意
議第63号	羽島市農業委員会委員の任命について	原案同意
議第64号	羽島市農業委員会委員の任命について	原案同意
議第65号	羽島市議会議員及び羽島市長の選挙における選挙公報の発行に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決
議第66号	羽島市附属機関設置条例の一部を改正する条例について	原案可決
議第67号	羽島市手数料条例の一部を改正する条例について	原案可決
議第68号	羽島市歴史民俗資料館条例の一部を改正する条例について	原案可決
議第69号	羽島市竹鼻町屋ギャラリー条例の一部を改正する条例について	原案可決
議第70号	羽島市竹鼻まつり山車会館条例について	原案可決
議第71号	羽島市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について	原案可決
議第72号	羽島市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について	原案可決
議第73号	令和2年度羽島市一般会計補正予算(第4号)	原案可決
議第74号	令和2年度羽島市病院事業会計補正予算(第1号)	原案可決
議第75号	動産の取得について	原案可決
議第76号	市道路線の認定について	原案可決
議第77号	令和2年度羽島市一般会計補正予算(第5号)	原案可決
議第78号	工事請負契約の締結について	原案可決
議第79号	工事請負契約の締結について	原案可決
	閉会中の継続審査について	原案可決

例年8月に開催していましたが「羽島市議会意見交換会」は、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、8月の開催を見合わせます。新型コロナウイルス感染症の感染状況によっては今年度の開催を中止する場合があります。

意見交換会開催の可否については市議会ホームページ及び議会だよりにてお知らせする予定です。



発行：羽島市議会

〒501-6292 羽島市竹鼻町55 TEL (392) 1111 FAX (391) 1733 <https://www.city.hashima.lg.jp>

編集：広報広聴委員会